

26-3 経営協議会議事概要

日 時 平成26年9月25日(木) 13:30~15:20
委 員 内田学長(議長)
 銭谷, 西岡, 野路, 宮池, 村本, 安田, 渡辺
 田中, 朴, 堀, 鈴木 各委員
列席者 山本, 堀内, 西村, 児玉, 駒田 各副学長, 武田参与
 橋本, 山中 各監事

◎議事概要の確認

26-2の議事概要(案)について, 了承された。

I 協議事項

1. 機能強化について

学長より「資料1」に基づき説明があり, 審議の結果, 了承された。

<主な意見など(○=外部委員, ●=大学側)>

- 教員組織の一元化を既に行っている国立大学はあるか。
- 複数の大学で実施している。国内外の実情を調査検討のうえ, 本学に相応しい体制を作りたい。学部の壁を取り払うことにも繋がる。
- 地域イノベーションは必須であり, 方向性として良いのではないか。
- 自律した大学経営を行うには, 予算面での自律が必要である。
- この機能強化案は, 外部資金獲得にも機能するため, 経営体質の強化に繋がる。また, マネジメントには意識の共有が必要と考える。
- 自然生命科学先鋭研究科(仮称)では, 多様な学問分野の人財を受け入れて学際的な研究を行っていただきたい。
- 三重大大学のような地方大学では, 大学の強みを生かすことが効果的であり, この機能強化案は, 良い方向性を示している。
- 教員組織を一元化した教養教育機構は, 三重県内・東海地域を担う人財育成の方策となると考える。
- 具体的にどう進めるかが課題である。教員の一元化構想は, 実行しなければならない。

II 報告事項

1. 平成27年度概算要求事項について

鈴木理事より「資料2-1, 2-2」に基づき説明があった。

2. 平成25事業年度に係る業務の実績に関する国立大学法人評価委員会ヒアリング報告について

朴理事より「資料3」及び「参考資料」に基づき説明があった。

3. 国立大学法人三重大学業務方法書の変更について

鈴木理事より「資料4」に基づき報告があった。

4. その他

①次回の開催について

11月27日（木）13：30から開催することを確認した。

以上